



充実した時間を！！

～夏休みも

自分を伸ばそう～



朝、目覚める。すると、不思議なことに、あなたの財布にまさる 24 時間がぎっしりと詰まっている。そして、それがすべてあなたのものなのだ。これこそ最も貴重な財産である。

時間は実に不思議な貴重品である。そして、それ自体の不思議もさることながら、その与えられた方も実に不思議である。

考えてもごらん下さい！誰もあなたから時間を取り上げることはできないし、盗むこともできない。そして、あなたより多くの時間を与えられている者もないのだ。

(中略)

そのうえ、先の分まで引き出して前借するなどということもできない。できるのは、過ぎ去っていく現在という時間を浪費することだけだ。

そして、明日の時間を、今、浪費することもできない。なぜなら、それは「明日のあなたのためにとっておかれている」からだ。

『自分の時間』（アーノルド・ベネット著、渡部昇一訳・解説 三笠書房）という本の一説です。同じ本の中で、著者は「時は金なり」という諺について「この諺は事実を控えめに言ったまでで、実際には時は金などよりもはるかに貴重なものだ」とも書いています。

いよいよ明日から、夏休みです。今年の夏休みは45日間。貴重な一日一日を、子どもたちには、「時間」を意識しながら過ごしてほしいと願っています。

そんな子どもたちに、本日の終業式において、夏休みに落とさないことを3つ紹介しました。

「学び」・・・夏休みこそ、普段あまりできない学びをしましょう。反復学習で確実に基礎的な内容を身に着けたり、探究的な活動、いろいろな本を読んだりするなど。

「品格」・・・「昼夜逆転した生活リズム」「夜遅くまでの外出や外泊」「法律に触れる行為」は、全て品格を落とす行為です。

「命」・・・何より命は一度落としたら取り返しがつきません。命を落とすことだけは絶対ないように、強く強く強くお願いします。

平等に与えられた45日間をどのように過ごしていくのか。決めるのは子供たち一人ひとりです。9月1日（火）に、子供たちの元気な顔が揃うことを楽しみにしています。